



営農情報 INFORMATION



★今月号は私が担当しました。

営農振興課
営農経済渉外係長
渡邊 敦

ブロッコリーの病害対策

昨年は降雨が少なく、病害の発生が比較的少ない年でした。一方、今年は湿度が高く、病害の発生しやすい気象条件となっています。圃場管理や適切な薬剤防除を徹底し、病害の発生・拡大を防ぎましょう。

病害の「早期発見・早期対策」

ブロッコリーは、気温・降雨・湿度などの条件によって、病害が発生しやすいります。特に、雨が多く高温多湿になる時期は注意が必要です。

■病害を防ぐためのポイント

①圃場の排水を徹底する

圃場に水がたまると、土壌中の病原菌が増えたり、株が弱つ

たりして病害を受けやすくなります。

畝間の作切りをして、雨が降った後に余分な水が残らないように排水路を作りましょう。

②風通しを良くする

定植後は株が成長して葉が込み合うため、圃場内の風通しが悪くなり、葉や株元が長時間濡れた状態になってしまいます。雑草が多い時期のため、除草作業を早めに行い、通風を良くしましょう。

③圃場をこまめに確認する

葉の斑点・黄化・腐敗などの異常がないか、定期的に確認しましょう。病害を早期に見つけることが、被害拡大防止につながります。

④発病株・被害葉は早めに処理する

発病した株や被害葉を圃場に残すと、病原菌が広がる原因となります。発病株や被害葉は早めに除去し、適切に処理しましょう。

農薬による防除は「予防」を意識

病害が発生してから防除では、十分な効果が得られない場合は、

があります。

天候や圃場の発生状況を確認し、病害の発生前から適期防除を行うことを意識しましょう。農薬を使用する際は、ラベルに記載された使用方法を必ず守ってください。

病害対策の基本は「予防・早期発見・早期対応」です!!

圃場をよく観察し、排水、風通し、残さ処理などの基本管理を徹底して、病害の発生と拡大を防ぎましょう。

主な発症病害

●黒すす病



図

RACコード	薬 剤 名	使用時期	回数	作用特性
7	カナメフロアブル	前 日	3回	予防+治療
	シグナムWGD	7日前	2回	予防+治療
11	アミスターフロアブル20	前 日	3回	予防+治療
	ファンタジスタ顆粒水和	3日前	3回	予防+治療

※黒すす病は、葉や葉柄に黒褐色（黒色）の斑点が現れます。病勢が進むと葉が枯れ、花蕾にも黒いすす状のカビが発生することがあります。

図は一部の薬剤例になります。同じ系統の薬剤を連用せず、ローテーション散布を実施しましょう。